

# 売上

(17/2Q)

## ■ 連結売上高: 47.9億円 (前年比0.2%増)

- ・眼鏡事業の譲渡により店舗数は減少も、一店舗当たり売上高は伸長し、増収を確保。
- ・EC事業を中心とした新規チャネルの収益化は発展途上で、売上貢献度は限定的。

# 利益

(17/2Q)

## ■ 連結売上総利益: 30.9億円 (前年比0.1%増)

- ・高収益の“Wish upon a star”の売上が堅調に推移し、売上総利益は増加。
- ・ベトナム子会社製品での売上構成比は48.6%となり、商品原価率の低減に寄与。

## ■ 連結営業利益: 1.0億円 (前年比49.3%増)

- ・売上総利益の増加に対して販売費及び一般管理費が減少し、営業利益は大幅改善。
- ・グループマネジメント体制の強化による海外事業の成長が奏功し、連結業績に寄与。

## 17/8月期 通期予想

## ■ 連結売上高: 96.0億円 (前年比3.3%増)

## ■ 連結営業利益: 2.5億円 (前年比15.4%増)

- ・2Q業績は利益面で上方修正も、今後の積極投資を鑑み、通期予想は据え置き。

## 1. 連結業績（経営成績）

個人消費の停滞、企業間競争の激化など厳しい外部環境の中、積極的なスクラップアンドビルドの実施など将来的な収益力の向上施策を推進

## &lt;経営成績(連結)&gt;

(単位:百万円)

	2016/2Q (累計)	売上 構成比	2017/2Q (累計)	売上 構成比	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	4,782	100.0%	4,790	100.0%	0.2%	7
売上総利益	3,087	64.6%	3,090	64.5%	0.1%	3
販売費及び 一般管理費	3,018	63.1%	2,987	62.4%	△1.0%	△30
営業利益	68	1.4%	102	2.1%	49.3%	33
経常利益	47	1.0%	120	2.5%	153.5%	72
四半期 純利益	2	0.1%	88	1.8%	-	85

連結売上高は、期末比較の店舗数減少に加え、EC事業の計画未達も、“Wish upon a star”を基軸としたプロモーション施策の継続推進により、増収を確保。

利益面は、売上総利益が前期比0.1%増加したことに加え、販売費及び一般管理費が1.0%減少したため、営業利益は改善。

主力の宝飾事業に経営資源を集中するため、眼鏡事業の譲渡を決定した一方で、さらなるブランド力の向上を目指すべく、銀座中央通りへの路面店出店を決定。

## 2. 連結業績(財政状態)

銀座路面店出店に伴い「商品及び製品」や「差入保証金」が拡大したため、  
中間期での総資産は前期末に比べ大幅に増加

(単位:百万円)

		2015/4Q	2016/4Q	2017/2Q	前期比 増減額
資産	流動資産	5,497	5,677	6,310	633
	固定資産	1,426	1,392	1,549	157
	繰延資産	3	1	-	△1
	合計	6,926	7,070	7,860	790
負債	流動負債	3,723	4,260	4,827	567
	固定負債	1,729	1,399	1,491	92
	合計	5,453	5,659	6,319	659
純資産	株主資本	1,437	1,443	1,509	65
	その他	36	△33	31	64
	合計	1,473	1,410	1,541	131
負債純資産合計		6,926	7,070	7,860	790

銀座路面店出店や商品政策強化に伴う在庫の拡大等により「商品及び製品」が266百万円、「原材料」が77百万円増加したことに加え、銀座路面店の工事費用やシステム投資の一部支払いにより233百万円がプラスされたことが要因。

「社債」が50百万円減少したことに対して「借入金総額」が585百万円、「支払手形及び買掛金」が139百万円増加したことが要因。

「利益剰余金」が65百万円増加したことに加え、「為替換算調整勘定」が44百万円増加したことが要因。

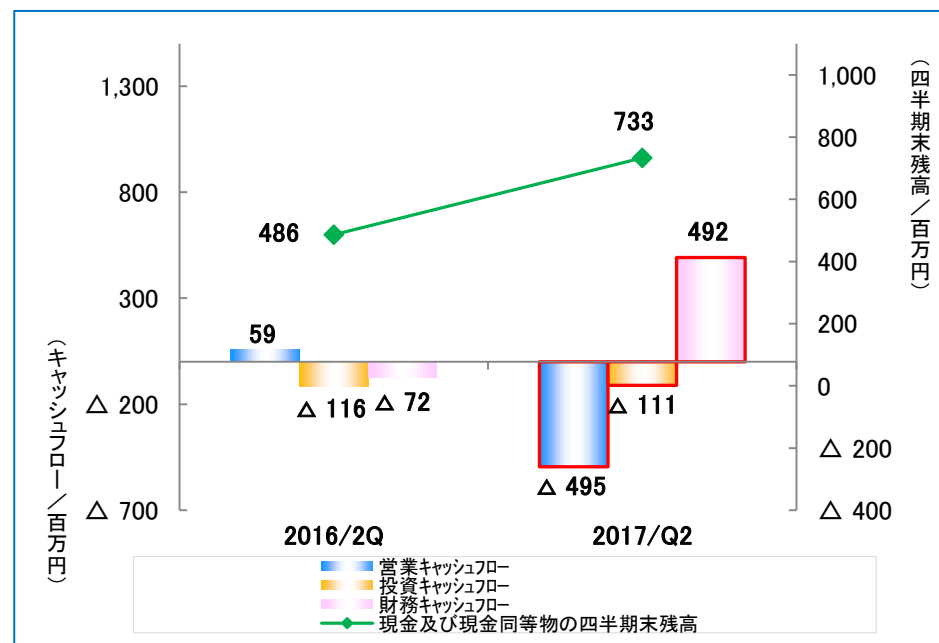
自己資本比率は19.1%となり、前期末に比べ0.5ポイントの減少。

## 3. 連結業績(キャッシュフロー)

営業活動により495百万円、投資活動で111百万円の資金を支出し、財務活動で492百万円の資金を獲得した結果、四半期末残高は733百万円に増加

(単位:百万円)

	2016/2Q (累計)	2017/2Q (累計)	増減額
営業 キャッシュフロー	59	△495	△555
投資 キャッシュフロー	△116	△111	5
財務 キャッシュフロー	△72	492	565
現金及び現金同等物の 四半期末残高	486	733	246



- 営業キャッシュフローは、「たな卸資産」の増加に加え、銀座出店等に伴う「前渡金」の増加が主な要因となり、495百万円のマイナス。
- 投資キャッシュフローは、銀座出店に伴う差入保証金による支出が主な要因となり111百万円のマイナス。
- 財務キャッシュフローは、「短期借入期」の大幅増加に加え、「長期借入金」の増加が主な要因となり492百万円のプラス。

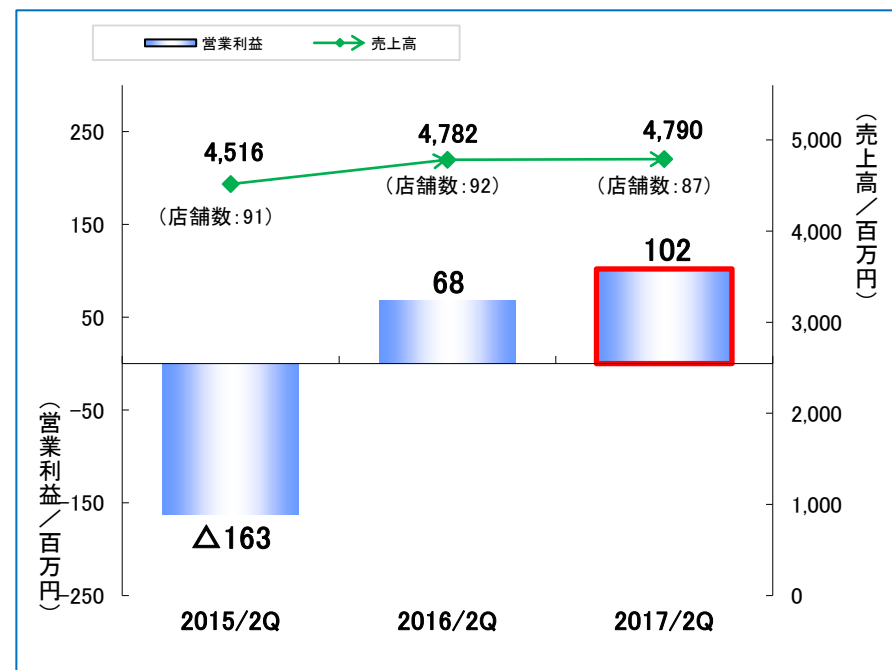
## 4. 連結業績の推移

中期5カ年計画の達成に向けた取り組みを加速させるなか、  
グループ全体の業績は増収増益で推移

## ＜経営成績(連結)＞

(単位:百万円)

	2015/2Q (累計)	2016/2Q (累計)	2017/2Q (累計)	前期比 増減率
売上高	4,516	4,782	4,790	0.2%
売上総利益	2,854	3,087	3,090	0.1%
販売費及び 一般管理費	3,018	3,018	2,987	△1.0%
営業利益	△163	68	102	49.3%
経常利益	△160	47	120	153.5%
四半期 純利益	△116	2	88	—



- 店舗数は減少も、“Wish upon a star”の販売強化が下支えとなり、一店舗当たりの売上高は増加。
- 台湾子会社の基盤整備やベトナム子会社の製造機能が着実に前進するなど、海外事業の貢献度は拡大傾向で推移。

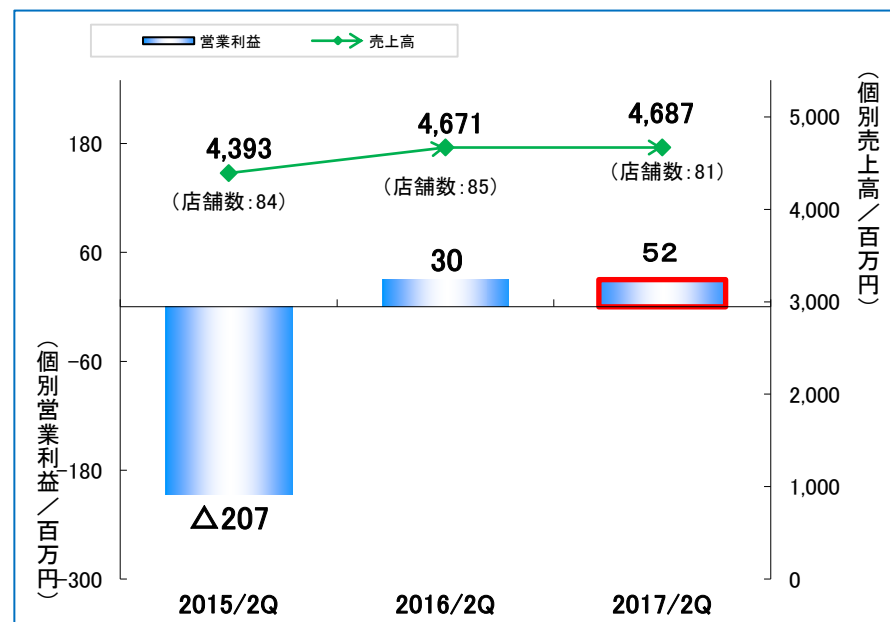
## 5. 個別業績の推移

厳しい事業環境の中、コストバランスを踏まえた運用が奏功し、  
当第2四半期の個別業績は回復基調で推移

## &lt;経営成績(個別)&gt;

(単位:百万円)

	2015/2Q (累計)	2016/2Q (累計)	2017/2Q (累計)	前期比 増減率
売上高	4,393	4,671	4,687	0.3%
売上総利益	2,724	2,969	2,962	△0.2%
販売費及び 一般管理費	2,931	2,939	2,910	△1.0%
営業利益	△207	30	52	71.6%
経常利益	△227	2	29	1473.6%
四半期 純利益	△177	△40	1	—



- 店舗数の減少に加え、EC事業の売上貢献度が限定的も、“Wish upon a star”が牽引し、売上高は増加傾向で推移。
- 卸売上構成比の拡大により、売上総利益は微減も、全体コストが減少したため、利益面も回復傾向で推移。